

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざす。
- 2 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成する。
- 3 一人ひとりが持つ可能性を開花させ自己実現を図るため、自己理解を深めていく姿勢と能力を養い、主体的で積極的な未来形成力を育む。
- 4 保護者・同窓会・後援会と連携するとともに、地域への貢献を行い、地域とのつながりの強化を図る。

2 中期的目標

【1】建学の精神に基づく教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

建学の精神「報恩感謝」・教育理念「教育の目的は人をつくること」を教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。

※入学式・卒業式・学年集会など、機会あるごとに、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解を深める。

※教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。

(2) 生徒のニーズに対応したコース制

生徒の多様なニーズに対応し、総合・保育・特進文理の3つのコース制を設けて教育活動を行う。

※部活動にしっかり取り組めるよう、月曜から金曜までの週5日制、1日6限授業を行う総合コースを設置し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。

※併設短大と連携したカリキュラムがある保育コースを設置し、高校卒業後専門的に学ぶための保育基礎知識を身につけ、保育者としての人間性を培う。

※週6日制、7限授業の後に放課後講習を実施する特進文理コースを設置し、習熟度目的別クラス編成を行い、一人ひとりの進路目標に対応する。

【2】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、学習面において基礎・基本を徹底的に行い、確かな学力を育成する。

(1) 生活指導

※基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。

※挨拶に重点を置いた指導として、毎朝登校時に生徒と教員による挨拶運動を実施する。

(2) 教科指導

※各教科は基礎・基本を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。

※授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。

※基礎学力の向上をめざすため、総合コースと保育コースの生徒対象に国語・数学・英語の3科目については「放課後基礎学習」を実施する。

【3】安全で安心な学校づくりと生徒への支援

(1) 人権教育

生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行うとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

※人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。

※いじめ等の身近な人権（1年）、戦争と平和（2年）、在日問題（3年）と学年ごとにテーマを決め、人権教育映画を鑑賞させる。

※12月の人権週間に合わせて、各担任による50分の人権ロングホームルームを実施する。

※3年生に対して、多民族共生に関する講演会を実施する。

(2) 危機管理と情報公開

生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。

※教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃から持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。

※学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。

(3) 課題を抱えている生徒への支援と進路希望

※生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。

※個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と地域への社会貢献

保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力し地域への社会貢献も行う。

※保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会と連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。

※自治体等から依頼される式典・啓発活動等での演奏や地域公立中学校や施設から要望される出張授業や演奏・演技等に応え、地域に貢献する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成27年3月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った。</p> <p>評価方法：各項目について、5段階評価で行った。</p> <p>5：その通りである 4：どちらかといえばその通りである 3：どちらともいえない 2：どちらかといえば違う 1：まったく違う</p> <p>○生徒</p> <p>1. 全学年の各項目評価を分析</p> <p>①評価が高い項目：いろいろなクラブ活動が活発：4.1, 制服に満足している：4.0, 学校での友人関係・友達付き合いがよい：3.9, 学校の設備・施設はよい：3.8, 文化祭・体育会など行事は活発：3.8とクラブ活動や行事が活発で、友達と仲良く学校生活を送っている様子が伺える。生徒たちは明るく元気で活気のある学校であると学園の特徴を捉えている。</p> <p>②評価が低い項目：授業は落ち着いて分かりやすい、悩みを先生に相談しやすい、学校のトピック・情報はホームページなどでよく伝えられているの3つの項目がいずれも3.3の最も低い評価となっている。授業は静かに集中して取り組めるよう、また分かりやすい授業をめざして工夫する必要がある。日常の活動を通して、教員と生徒との信頼関係が強化されるような指導のあり方を工夫する必要がある。日々忙しい中でも、学校でのトピックスや生徒の様子をホームページでまめに公開するようにはしなければならない。</p> <p>2. 高校としてどの項目を重点課題として改善するか。</p> <p>評価の低い項目を重点的に指導しなければならない。一人ひとりを大切に教育を推進し、品位の向上、学習・進路・社会性など、生徒が成長できる指導を実践していかなければならない。</p> <p>3. 前年度との比較</p> <p>前年度と比較して、学習・進路・教育相談等9項目で評価を上げている。特に、この学校の雰囲気は全体的に良いと思う、と、この学校は生徒を成長させてくれると思う、という2項目がともに評価を上げたのは嬉しい限りである。今後より一層改善・努力を行っていききたい。</p>	<p><学校評価委員会を開催></p> <p>H27年4月6日 14:00～15:00</p> <p>○生徒による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体がきれいです。人を落ち着かせる、人をお迎えする基本は掃除です。それがしっかりできているのが素晴らしい。 ・学校での様子がなかなか伝わって来ない。ホームページの更新は、常にすることが大切です。保護者・子どももチェックしています。もっと情報通信ツールの活用を工夫して欲しい。 ・学園大、学園短大への内部進学については成果が出ていると思う。 ・授業に興味関心を示さない生徒がいるようです。授業内容と日常生活での必要性が理解できていないと生徒は興味をしめさないのではないのでしょうか。 ・クラブ活動が活発で成果をあげていることは、学校全体の活性化につながりとても嬉しいことだ。子ども達もクラブを通じて友情や連帯感を学んでいる。

<p>○保護者</p> <p>1. 各項目のアンケート結果を生徒の結果と比較しつつ保護者の評価を分析する。 保護者の評価は生徒のものに比べると生徒会活動やPTAの活動は活発でよく協力しているの項目だけ低く、その他ではすべて高い評価を得ている。生徒に比べてとても好意的に評価してくれていると思われる。</p> <p>2. 保護者がどの項目を高く評価し、どの項目を低く評価しているか。 部活・行事・友人関係・制服・施設・美化等について評価が高く、入学させて良かったと評価しているが、授業・教科指導・進路指導・規則・PTA活動等についての評価は必ずしも高くはない。</p> <p>3. 生徒と保護者の結果が異なる項目について考える。 ①学校は楽しく入学してよかったという項目は、保護者と生徒の差が0.6 ありかなり差がある。 ②学校からの予定や連絡事項は家庭によく伝えられているとのことであるが、今後もメール配信システム「ミマモルメ」のさらなる活用を検討する必要がある。 ③先生と生徒の関係、先生と相談しやすいという項目は生徒の方が0.5 も評価が低い。</p> <p>4. 保護者が高校に何を求めているかを考え、その対策を立てる。 ①充実した授業を行い、学力を高めること。 ②規則を守り規律ある高校生活の実現を図ること。 ③子どもにとって信頼でき、相談しやすい教員であること。 ④進路指導を充実させ、進路目標を実現させること。</p> <p>5. 前年度との比較 前年度と比較して改善した項目が11 あり、ややうれしい評価となった。しかし、1 項目低くなったことなどを踏まえ安心せず今後さらに教育の改善に取り組んでいく所存である。</p>	<p>○保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の挨拶がキチンとできている学校の生徒は、概ね服装もキチンとできている場合が多い。 目標が見えない生徒は悲しいと思うので、パンフレットや説明だけでなく、見学や体験を通じて「なりたい自分」を探す機会をもっともっと増やすといいと思う。まず、目標が決まらないと高校生活が生き生きとしてこないと思う。 「成長させてくれると思う」という問いも自分として実感が持てていないのではないかと。今進められているキャリア教育の場で自分を振り返る時間を持たせたらどうか。 学校内で出会う生徒は、以前と比べて雰囲気は穏やかになっているような気がします。先生方の指導のお陰かと思えます。 図書館の利用が非常に少ないのは残念なことです。今の時代、仕方ないことかとは思いますが、何か工夫が必要ではないでしょうか。
<p>○教職員</p> <p>全体として前年度評価より0.3 ポイント上がっているのが危機管理対応と授業環境の2 項目、0.1 ～0.2 ポイントアップしたのが11 項目。0.3 ポイント評価が低下したのが文化祭・体育会などの生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援しているという項目。これは、教員の指導がかなり入っていて、生徒の主体的な活動を導き出すような指導が出来ていないという自己反省が働いているのであろう。他に、0.2 ポイント下がったのが生活の基本である時間を守るという指導を行っている、という項目。0.1 ポイント下がったのが8 項目あり、今後も充実した取組みを継続していきたい。</p> <p>教員はこれら評価の下がった分野を中心に課題を意識し、熱心に教育活動に取り組む意識を改めなければならない。学習指導や生徒指導について、教員は熱心に取り組んでいると自己評価しているが、生徒・保護者による関係者評価は必ずしも高くない。このことから、教員の意欲や指導が生徒や保護者に十分理解され浸透していない部分があり、その成果をあげるためには今後とも指導内容・方法等について改善を図る必要があるといえる。</p> <p>危機管理マニュアルについては改善されているが、東日本大震災以降、これまでにない充実した対応策が求められており、一層の努力が必要である。教員研修については、少しの改善は見られるが、さらに改善を加えて、教員間で学びあう環境を整えたい。また校内研修および学外研修の成果共有において、まだまだ改善しなければならない課題が残っている。</p> <p>【分析】</p> <p>自己評価を行うことによって、教員が本校の教育方針・教育目標を再認識し、それらを自覚しつつ日常の教育活動のあり方を振り返り、さらにより良い実践に取り組もうとする意欲を高めことができ、全体として学校組織を活性化させ、教育活動の一層の充実を図る契機となっている。</p> <p>学校評価の結果とその分析を通して、本校の教育活動が成果を挙げつつある分野と、そうでない分野があることを認識し、どこに課題があるのか、次年度どの分野に重点目標をおいて、どのような対策や教育計画を立てればよいかということが明確になってくる。これらをふまえて本校の教育力をさらに向上させたい。</p> <p>学校教育を支える根幹はやはり一人ひとりの教員である。生徒に愛情を持って接し、生徒を成長させるのは教員である。したがって、教育内容の充実を図るうえで何よりも大切なことは、教員が自ら指導力と資質の向上を図り、教員間の連携を一層強化することである。そのチームワークの総和こそが学校の教育力となり、発展の原動力となる。</p> <p>良い教育の実践こそ最も大切なことであり、保護者や地域社会の要望に応えられる教育を行うことが学校の発展につながるという観点から、一層教育の改善と健全で発展的な学校運営を進めていきたい。</p>	<p>○教員による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <p>総合的に評価が上がっていることは一定の評価はできる。しかし、学習指導・生徒指導の分野で、生徒・保護者の評価が高くないことは大きな課題であろう。</p> <p>○ 結果</p> <p>問題点がどこにあるのか、議論を充分に行い生徒の学習への取り組み・生活習慣の実態にあった指導内容を構築していくことが大切である。また、現在進めているキャリア教育のさらなる充実により、生徒一人ひとりが自分の将来に目標を持ち、それに向かって頑張る手助けができるように、全教員で充分に議論し、有意義な実践教育となるよう進めていきたいと考えている。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	(1) 私学の独自性 (2) 生徒のニーズに対応したコース制	<ul style="list-style-type: none"> 入学式・卒業式・学年集会など、機会あるごとに、建学の精神・教育理念について生徒に話をし、理解を深める。 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。 部活動にしっかり取り組めるよう、月曜から金曜までの週5 日制、1 日6 限授業を行う総合コースを設置し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 併設短大と連携したカリキュラムがある保育コースを設置し、高校卒業後専門的に学ぶための保育基礎知識を身につけ、保育者としての人間性を培う。 週6 日制、7 限授業の後に放課後講習を実施する特進文理コースを設置し、習熟度目的別クラス編成を行い、一人ひとりの進路目標に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員による建学の精神の理解及び実践。 (平成25 年度 4.1, 平成26 年度 4.1) 教員による教育方針の理解及び実践。 (平成25 年度 4.0, 平成26 年度 4.0) 教員による生徒への進路情報の提供や進路ガイダンスによる進路指導の実践。 (平成25 年度 4.2, 平成26 年度 4.2) 教員による生徒個人への進路相談や進路支援。 (平成25 年度 4.1, 平成26 年度 4.1) 教員による内部進学への支援。 (平成25 年度 4.4, 平成26 年度 4.4) 	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神をよく理解し、折りあるごとに想起している。今後も建学の精神、教育方針を踏まえた教育活動を展開することが私学として大切と考えるので、日常の教育場面に即してさらに浸透させていくことを心がけたい。 創立以来の教育方針にそって年間の教育目標を立て教育活動を実践している。さらに日常の教育活動の中で教育方針を浸透させていきたい。 学習指導要領をふまえ、各コースの特色とカリキュラムに沿って指導にあたっている。特に、新カリキュラムとなった1 年生からシラバスを作成配布して教科指導に当たり、学習指導要領の理念も十分にふまえて実践することができた。昨年と同様に高い評価となっている。

<p>2 確かな学力の育成 基本的な生活習慣の確立と</p>	<p>(1) 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。 挨拶に重点を置いた指導として、毎朝登校時に生徒と教員による挨拶運動を実施する。 <p>(2) 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科は基礎・基本を徹底的に行うため、年間を通じた教育計画を立て、シラバスに沿って指導する。 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。 基礎学力の向上をめざすため、総合コースと保育コースの生徒対象に国語・数学・英語の3科目については「放課後基礎学習」を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付けさせるという指導を行っている。 (平成 25 年度 4.2, 平成 26 年度 4.0) 服装・頭髪・持ち物など生活面での規則・ルールを理解させ守らせている。 (平成 25 年度 3.9, 平成 26 年度 3.9) 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行っている。 (平成 25 年度 4.1, 平成 26 年度 4.1) 生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる授業を実践している。 (平成 25 年度 4.0, 平成 26 年度 4.1) 学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行っている。 (平成 25 年度 3.9, 平成 26 年度 3.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある生活、時間を守ることの大切さについて熱心に指導している。何より学校生活が楽しく目標のあるものにすることが遅刻を減らすことにつながると理解して指導している。 教育方針「礼儀と品性」をかかげ、朝の挨拶運動や教室・廊下での挨拶などを実行している。より良い人間関係づくりに挨拶の励行は欠かせない。挨拶の輪を広げ、さらに基本的な礼儀・マナーを身につけさせたい。 規則を守れない事例は減少してはいるが、まだ改善の余地はある。生活指導は地道に粘り強く継続して実施したい。生徒が自主的に規律ある態度をとってくれるようさらに指導していきたい。 基礎基本を理解させるために分かりやすい授業を実践しようと努力しており、教員の評価も 4.1 あり、学習指導の在り方について授業技術の向上などの努力はなされてはいる。 学習内容に興味・関心をもち意欲を高めさせ、学力を向上させようと努力し、教員の評価も 4.1 と昨年度より 0.1 上昇しており、さらなる学力の向上を目標として頑張らなければならない。
<p>3 安全で安心な学校づくりと生徒への支援</p>	<p>(1) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。 いじめ等の身近な人権（1年）、戦争と平和（2年）、在日問題（3年）と学年毎にテーマを決め、人権教育映画を鑑賞させる。 12月の人権週間に合わせて、各担任による50分の人権ロングホームルームを実施する。 3年生に対して、多民族共生に関する講演会を実施する。 <p>(2) 危機管理と情報公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。 <p>(3) 生徒への支援と進路希望</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。 個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人を尊重し、より良い人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している。 (平成 25 年度 4.0, 平成 26 年度 4.1) 人権にかかわる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。 (平成 25 年度 3.8, 平成 26 年度 4.0) 危機管理マニュアルを作成し非常時の役割を分担している。 (平成 25 年度 3.9, 平成 26 年度 4.2) 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開をしている。 (平成 25 年度 4.0, 平成 26 年度 3.9) 生徒が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行っている。 (平成 25 年度 4.1, 平成 26 年度 4.1) 生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンスなどの進路指導を実施している。 (平成 25 年度 4.2, 平成 26 年度 4.2) 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人を尊重し、友人関係を大切にし周囲の人たちと良好な関係を築くことの大切さを日常生活のなかでよく指導しているが、その精神が浸透しつつある。 人権意識を高め、周囲の人を尊重し、差別をなくそうとする態度を養う指導が行われている。良好な人間関係を築き、より良い社会を目指すために正しい判断力と行動力を育てたい。 危機管理には自然災害・火事などの防災や対人的な防犯や保健衛生に係わるものなどがある。防災教育委員会を発足させ、マニュアルの見直しを進め役割分担をより明確にするなど安全・安心な学校をめざしている。 学校の情報公開は進みつつあり、教育活動や学校の情報はほぼ伝達されている。具体的な教育実践を盛り込むなど、さらに情報内容を充実させ、学校と保護者・地域の理解と連携を深めることが大切である。 進路情報の提供やガイダンスを実施し、将来の目標を決めるための判断材料を提供したり、見学・体験・相談の機会を設けるなど、学年・時期に応じて適切な指導を行っている。
<p>4 連携と地域への社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動や啓発活動等に協力し地域への社会貢献も行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と協力し P T A 活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。 自治体等から依頼される式典・啓発活動等での演奏や地域公立中学校や施設から要望される出張授業や演奏・演技等に応え、地域に貢献する。 保護者から見る生徒会活動や P T A の活動は活発でよく協力していただいている。 (平成 25 年度 3.4, 平成 26 年度 3.4) 生徒から見る生徒会活動や P T A の活動は活発でよく協力してくれている。 (平成 25 年度 3.5, 平成 26 年度 3.6) 教員から見る生徒会活動や保護者・同窓会・後援会の活動はとても活発でよく協力いただいている。 (平成 25 年度 4.3, 平成 26 年度 4.0) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となり、様々な行事やボランティア活動、東日本大震災復興支援など行っているが、一般生徒からも非常に協力的で充実したものとなっている。今後も、さらに生徒たちの自主性を尊重し、発展的なものとなるよう協力して行きたい。